

第3回秋葉山再生連絡会議(現地調査)

●日時: 令和6年9月25日(水)午後1時30分～3時30分

●場所: 内原沢1流域、秋葉山

●出席者14人 ・山形大学 ・林野庁置賜森林管理署 ・米沢地方森林組合
・山形県置賜総合支庁: 森林整備課、河川砂防課、環境課
・南陽市: 総合防災課、建設課、商工観光課、農林課

◆5月4日の林野火災から4ヵ月が経過した秋葉山及び周辺の流域やため池の現況について、再生連絡会議のメンバーで確認し、情報の共有を図った。また、車窓から市道秋葉フルーツライン線の道路工事の進捗状況を確認し、山小屋の撤去や実証事業用環境整備(仮設駐車場、資材置場)の整備状況等を確認した。

1現地確認(市役所正面玄関集合)(13:30)

①内原沢1流域 河川砂防課

・土砂災害警戒区域は、激しく燃えたエリアに近い内原沢付近を調査。

・沢とつながるため池に土砂流出による濁りは確認されなかった。周辺の植物の生育も進み、現状は土砂災害が発生する可能性は低いと考える。



②秋葉山植生調査 森林整備課

・森林整備課で設置している植生調査プロット3カ所の状況確認。焼けた木の根から多くの発芽が見られたことから植物再生が進んでいる。

・ナラ類を中心に焼けた木の根から芽生えているものが多く見られ、生育が順調に進めば元の森林に戻りそうだ。

・森林の再生方法については、来春まで経過を観察した上で方針を決めるのが望ましい。

2意見交換

※現地確認後の意見交換は実施せず

3閉会(15:30)

